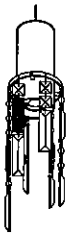
Panasonic®

取扱説明書

保管用
施工説明付き
保証書別添付

住宅用照明器具（ペンダント）



品番　LGB10996LE1

お客様へ　このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
ご使用前に「安全上のご注意」（1～2ページ）を必ずお読みください。
保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

工事店様へ　この説明書は必ずお客様にお渡しください。

安全上のご注意　必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠ 警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
⚠ 注意	「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を、次の図記号で説明しています。

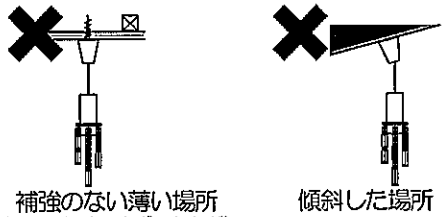
⃠	してはいけない内容です。
❗	実行しなければならない内容です。

⚠ 警告

■天井

●次のような場所に取り付けない
落下によるけがのおそれがあります。

禁止



補強のない薄い場所（ベニヤ板や石膏ボードなど）　傾斜した場所

◎この器具は水平天井面吊り下げ専用です。

■壁スイッチ

●調光機能が付いた壁スイッチの場合は、一般の入切用スイッチに交換する
火災のおそれがあります。

必ず守る

◎販売店、工事店に交換を依頼してください。
（取り外しには資格が必要です。）

■配線器具

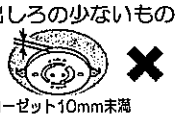
●がたついたり、破損している配線器具（ローゼット・引掛シーリング）には取り付けない
火災、感電、落下によるけがのおそれがあります。

がたつき・破損

●適正な状態にない配線器具には無理に取り付けない
落下によるけがのおそれがあります。

禁止

出しろの少ないもの



ローゼット10mm未満

引掛シーリング19mm未満

斜めに取り付けられたもの

シーリングハンガーが取り付けられたもの

ケースウェイに取り付けられたもの

電源端子露出タイプ

■その他

●器具を改造したり、部品交換をしない
火災、感電、落下によるけがのおそれがあります。

分解禁止

●交流100ボルトで使用する
過電圧を加えると過熱し、火災、感電のおそれがあります。

●異常を感じた場合、速やかに電源を切る
異常状態が収まったことを確認し、販売店またはお客様ご相談窓口（保証書内在中）にご相談ください。

必ず守る

⚠ 注意

必ず守る

●照明器具には寿命があります。
設置して10年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化は進行しています。
点検・交換してください。
点検せずに長期間使い続けるとまれに火災・感電・落下などに至る場合があります。
◎1年に1回は「安全チェックシート」（保証書内在中）に基づき自主点検してください。

●付属の梱包材は取り除いて使用する
そのまま使用すると、火災の原因となることがあります。

水ぬれ禁止

●浴室など湿気の多い場所や屋外で使用しない
火災、感電の原因となることがあります。
◎この器具は防湿、防雨型ではありません。

禁止

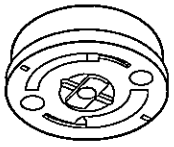
●温度の高くなるものを器具の真下に置かない
火災の原因となることがあります。
◎器具の真下にストーブなどを置かないでください。

●壁の近くに取り付けない
器具の揺れなどで本体などが接触し落下、破損、傷などの原因となることがあります。

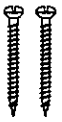
●多灯設置する場合、器具を揺らしたりしない
器具の揺れなどで本体などが接触し落下、破損、傷などの原因となることがあります。

●LEDを直視しない
目の痛みの原因となることがあります。

付属部品　施工する前にまず付属部品をご確認ください

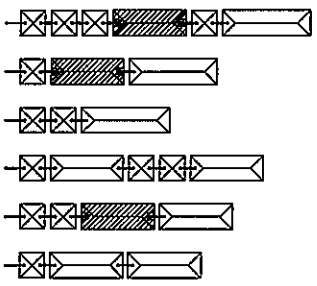


□配線器具
（丸型フル引掛シーリング（1個））



□引掛シーリング用
木ネジ（２本）

□飾りＡ（1本）
□飾りＢ（1本）
□飾りＣ（1本）
□飾りＤ（1本）
□飾りＥ（1本）
□飾りＦ（1本）



各部のなまえ

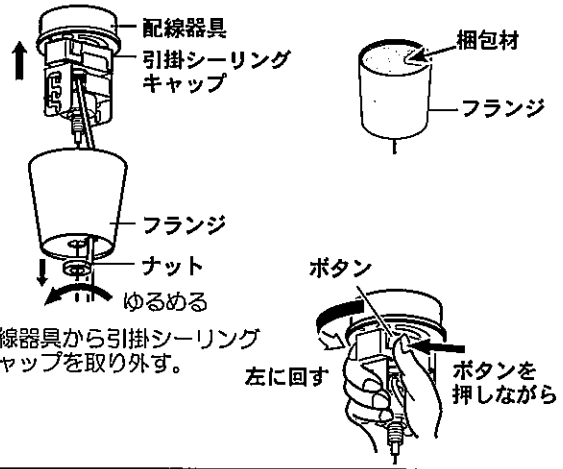
施工前のご確認事項

・壁スイッチを設けることをおすすめします。
・壁スイッチを設けないと消灯させたり、お手入れの際に電源をOFFにできません。
・ほたるスイッチと接続する場合は器具1台につき、スイッチ３個までで、ご使用ください。
（４個以上のほたるスイッチと接続すると、スイッチを切にしても器具が消灯しないことがあります。）

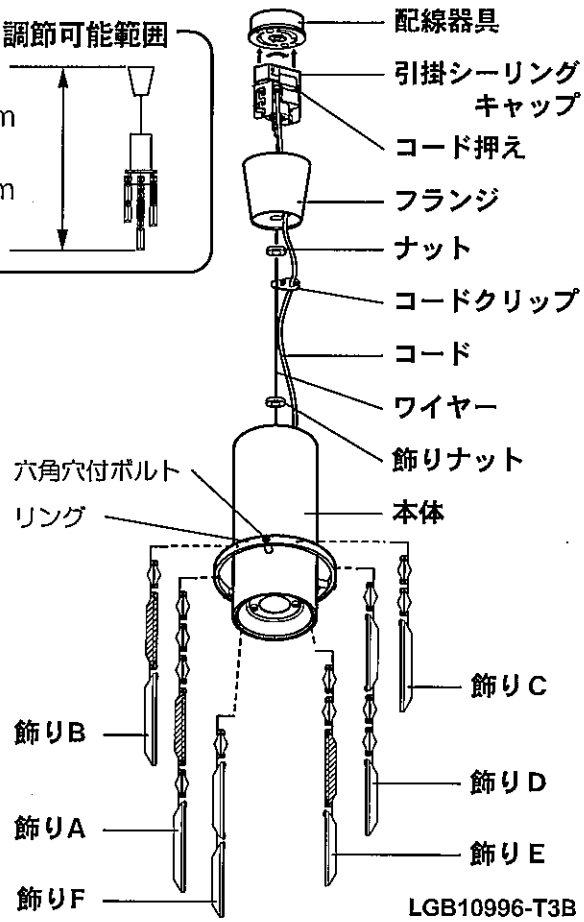
ワイヤー調節可能範囲

取り付け前のご準備

①ナットをゆるめて、フランジから配線器具と引掛シーリングキャップを引き出し、フランジ内の梱包材を取り除く。



②配線器具から引掛シーリングキャップを取り外す。



LGB10996-T3B

照明器具を取り付ける

安全のため、電源を切ってから行ってください

1 天井についている配線器具を確認する

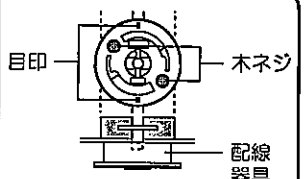
下記以外の配線器具の場合、配線器具が設置されていない場合、取り付けできません。

◎販売店、工事店に同梱の配線器具への取り替え、取り付けをご依頼ください。
◎工事には資格が必要です。

⚠警告

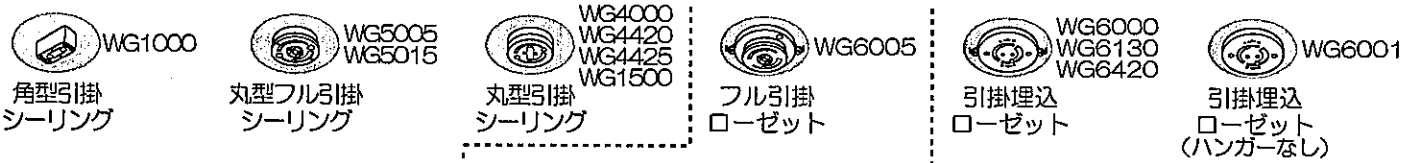
必ず守る

目透かし天井へ取り付ける場合は、目透かしの方向に目印を合わせて取り付ける
落下してけがのおそれがあります。

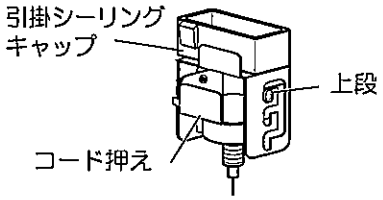


天井に下図のような配線器具が付いている場合、取り付けできます。

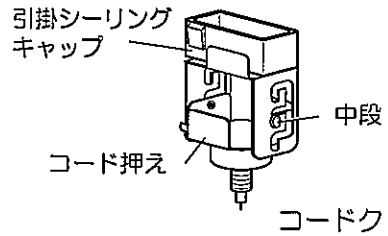
下記の準備を行ってください。



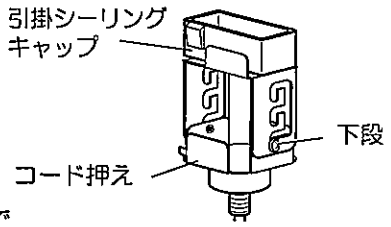
・**コード押えを上段にセットする。**



・**コード押えを中段にセットする。**



・**コード押えを下段にセットする。**



配線器具に　コードクリップで

2 引掛シーリングキャップを接続する

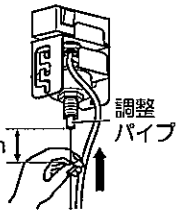
・止まるまで右に回す。
◎取り付け後、ボタンを押さずに左に回して、外れないことを確認する。

3 器具の高さを調整する

・ワイヤー長さの調整範囲は約50ｃｍです。

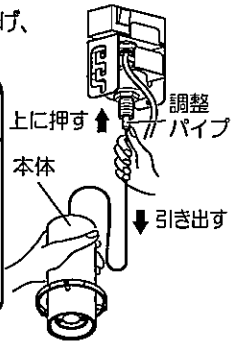
器具を上げる場合

・本体を片手で支えながら、調整パイプの下約3cmの位置から少しずつをワイヤー押し込む。　約3cm



器具を下げる場合

・本体を片手で支えながら、調整パイプを押し上げ、ワイヤーを引き出す。



⚠注意

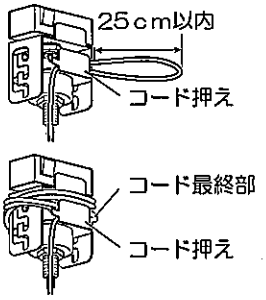
必ず守る

ワイヤー操作の前にコードを引き出す
コード破損の原因となります。
調整パイプを押し込むと器具は急激に下がるため、本体を片手でしっかり支える
落下してけがのおそれがあります。

4 コードの長さを調整する

・コード長さの調整範囲は約50ｃｍです。

① 余ったコードを、コード押えの右側から引き出す
② コードを巻き付け、最終部をコード押えに押し込む

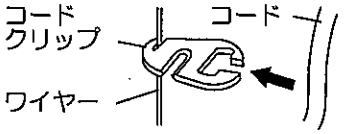


⚠注意

必ず守る

ワイヤーがたるんでいないことを確認する
コードで吊り下げると破損の原因となります。

5 コードを固定する

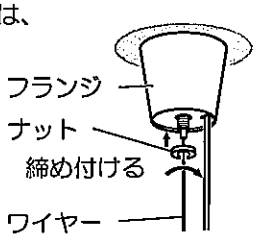


器具高さ調節後、コードクリップにてコードを固定してください。

6 フランジを固定する

・フランジ内部でコードとワイヤーが交差しないようにコードとフランジのコード穴の向きを合わせ、フランジを天井に押し上げ、ナットを締め付けてフランジを固定する。

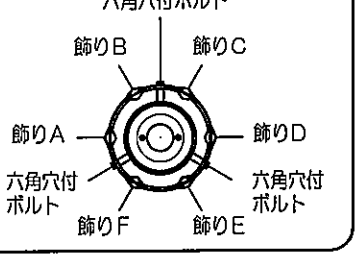
※フランジを天井に押し上げる際は、本体を片手で支えてください。

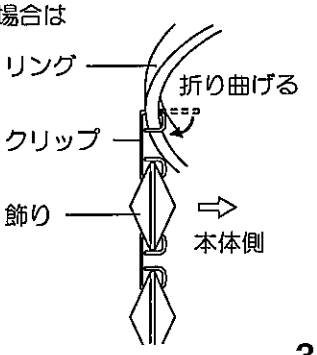


7 飾りA・飾りB・飾りC・飾りD・飾りE・飾りFを取り付ける

・飾りのクリップをリングの穴に取り付ける。
・クリップ及び飾りによじれがある場合はまっすぐにしてください。

本体の下から見た状態



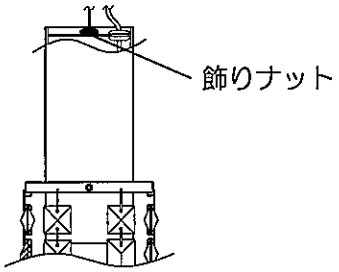


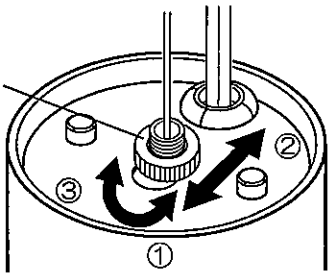
器具の傾き調整について

電源を切って、冷めてから行ってください。

傾き調整方法

①飾りナットをゆるめる。
②飾りナットをずらし傾きを調整する。
③飾りナットを締め付ける。





お手入れについて

電源を切って、冷めてから行ってください。

●明るく安全に使用していただくため、
定期的（6カ月に1度程度）に清掃してください。
●汚れがひどい場合は、石けん水に浸した布をよく絞ってふき取り、
乾いたやわらかい布で仕上げてください。
●アルカリ系洗剤は使用しないでください。
強度低下による破損や変色のおそれがあります。

確認 シンナー、ベンジンなどの
揮発性のものでふいたり、
殺虫剤をかけたりしないでください。
変色、破損の原因となります。

ご使用上に関するお知らせ

故障や異常ではありません。

【 器具自体の留意点 】

●ＬＥＤにはバラツキがあるため、同一品番でも商品ごとに発光色、明るさが異なる場合があります。
●ＬＥＤが点灯しない場合は、電源を切り、販売店、工事店またはお客様ご相談窓口（保証書内在中）にご相談ください。
●ＬＥＤは、通常のランプのようにお客様自身でのお取り替えはできません。
●点灯中や消灯直後、プラスチックの伸縮により若干のきしみ音が発生することがありますが、異常ではありません。
●飾りに衝撃を加えたり、ムリに引っ張ったり、回したりしないでください。飾りの破損やガラスの粉末が落下する恐れがあります。

【 周 囲 の 影 響 】

●器具の近くでは、ラジオやテレビなどの音響、映像機器に雑音が入ることがあります。
●器具のきわめて近くでは、リモコン機器（エアコンなど）のリモコンが動作しにくくなることがあります。

仕 様

使用電圧	周波数	消費電力
AC100V	50/60Hz共用	6．9W

保証とアフターサービス

よくお読みください

修理・使いかた・お手入れ などは…
■まず、お買い上げの販売店へご相談ください
▼お買い上げの際に記入されると便利です

販売店名
電　話（　）－
お買い上げ日　年　月　日

●保証期間中は、保証書の規定に従って、お買い上げの販売店が修理をさせていただきますので、おそれ入りますが、製品に保証書を添えてご持参ください。

●保証期間終了後は、診断をして修理できる場合は、ご要望により修理させていただきます。

＊修理料金は次の内容で構成されています。

技術料	診断・修理・調整・点検などの費用
部品代	部品および補助材料代
出張料	技術者を派遣する費用

修理を依頼されるときは…
まず電源を切って、お買い上げ日と以下の内容をご連絡ください。

●製　品　名	住宅用照明器具
●品　　番	○○○○○○
●故障の状況	できるだけ具体的に

保証期間：お買い上げ日から本体1年間

ただし、安定器・LED電源については3年間です。

※保証の例外　24時間連続使用など、1日20時間以上の長時間の使用の場合、保証期間は半分となります。

補修用性能部品の保有期間 6年

＊当社はこの照明器具の補修用性能部品（製品の機能を維持するための部品）を、製造打ち切り後6年間保有しています。

パナソニック株式会社　インテリア照明ビジネスユニット
〒571－8686 大阪府門真市門真1048
© Panasonic Corporation 2012

LGB10996-T3A1
N0510-010112